

# 能美市立病院 キャリア開発プログラム

看護実践力:看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を障地で実践する能力

定義	レベル	I	II	III	IV	V	介護職研修		看護補助者研修	
	レベルごとの定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別の看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践する	担当師長	担当主任		
ニーズをとらえる力	レベル毎の目標	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性を統合したニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる			各ラダー研修(別紙あり)	看護補助者の役割・医療制度の概要・医療安全・感染対策・排泄ケア・移乗・ポジショニング・口腔ケア・食事介助
ケアする力(排泄・食事)(救急)	レベル毎の目標	助言を受けながら安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する				
協働する力	レベル毎の目標	関係者と情報共有する	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換出来る	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携できる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす				
意思決定を支える力	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かす事が出来る	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定が出来る	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重出来る	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことが出来る				

マネジメント能力:役割別研修:看護師がそれぞれの役割を理解し、看護師としての責任と判断力を持つことが出来る

研修会の種類・主旨	①社会人として専門職業人として職場環境や業務に慣れる②正確・安全な知識・技術の習得ができる	新人研修	看護協会研修、院外研修、基礎看護技術、*基礎看護、感染対策・医療安全の基本的知識、看護倫理、看護研究の基本、接遇、看護必要度、看護記録、固定チームナーシング研修、BLS研修、ACP、静脈注射各々ラーニング研修(全体研修も含む)						
	新人看護師に寄り添い支援できる	プリセプター研修	上記の他に、交流分析、リーダーシップ論、問題解決思考						
	リーダーとしての役割を自覚し、自己の課題に対して目標を持って取り組む	リーダーⅠ研修	上記の他に人間関係論、リフレクション、ナラティブ、地域包括ケアシステム、看護実践力研修						
	現場の中で課題を明確にし、問題解決能力を身につける	リーダーⅡ研修	上記の他に人間関係論、リフレクション、ナラティブ						
	看護実践者としての役割モデルを示すことができる	リーダーⅢ研修	上記の他に経営論、マネジメント、組織論、教育担当者研修						
	それぞれの求められる役割の遂行	臨床指導者研修・認定看護師	実習指導者講習会、認定看護師研修					管理者コース	
			主任～看護部長		ファースト	セカンド	サード	大学院	管理者コースの研修(参考) 医療メディエーター研修 災害看護管理者研修 看護管理経営研修 新人教育責任者研修 看護補助者管理者研修 医療安全管理者研
人間関係能力:看護倫理:患者及び家族との信頼関係の確立、医療チームとの協働、連携のためにコミュニケーション技術を高め、人間関係の構築を図る(全体研修)									
教育・研究能力:看護の質を保障するために、後輩を育成する能力であり、自らが研究に取り組み、医療の変化に対応出来る									
社会人基礎力:社会人としての基本的な態度を身につける									